

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【公開番号】特開 2019-163895 (P2019-163895A)

【公開日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【年通号数】公開・登録公報 2019-039

【出願番号】特願 2018-51832 (P2018-51832)

【国際特許分類】

F 2 8 D 15/04 (2006.01)

F 2 8 D 15/02 (2006.01)

F 2 8 F 21/08 (2006.01)

B 2 2 F 3/18 (2006.01)

【F I】

F 2 8 D 15/04 G

F 2 8 D 15/02 1 0 6 Z

F 2 8 F 21/08

B 2 2 F 3/18

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 28 日 (2019.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金属粉末を含んでなる原料を基台上に供給する工程と、
基台上の原料を加熱して焼結体を得る工程と、を含むことを特徴とするウィックの製造方法。

【請求項 2】

原料がバインダーを含んでなることを特徴とする請求項 1 に記載のウィックの製造方法。

【請求項 3】

基台上の原料が当該基台と共に加熱されることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のウィックの製造方法。

【請求項 4】

基台が金属により形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のうちいずれか一項に記載のウィックの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、ヒートパイプ、ベイパーチャンバー等の熱伝導部材（放熱部材）に使用されるウィックの製造方法に関し、特に、シート状のウィックを形成することが容易となるウィックの製造方法に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、従来のウィックの製造方法では、シート状のウィックを形成することが困難となる恐れがある。

本発明の課題は、シート状のウィックを形成することが容易となるウィックの製造方法を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するために、第一の発明に係るウィックの製造方法は、金属粉末を含んでなる原料を基台上に供給する工程と、基台上の原料を加熱して焼結体を得る工程と、を含むことを特徴とする。

第一の発明に係るウィックの製造方法では、基台上に供給された原料を加熱することにより、焼結体が形成される。これによって、シート状の焼結体からなるウィックを形成することが可能となる。

ここで、基台としては、後述する枠体、トレイT、金属ベルト11a等が該当する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

第二の発明に係るウィックの製造方法は、第一の発明に係るウィックの製造方法において、原料がバインダーを含んでなることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

第三の発明に係るウィックの製造方法は、第一又は第二の発明に係るウィックの製造方法において、基台上の原料が当該基台と共に加熱されることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

第四の発明に係るウィックの製造方法は、第一乃至第三のうちいずれか一の発明に係るウィックの製造方法において、基台が金属により形成されていることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明に係るウィックの製造方法によれば、シート状のウィックを形成することが容易となる。